



なが た ひろ ゆき
長田弘幸さん (曙在住)

夢に向かって、これからも挑戦は続きます



▲▼ 写真:日本チーム荒井秀樹監督撮影・提供

「雪上のマラソン」といわれ、起伏のあるコースでタイムを競うクロスカントリースキー。長田弘幸さんは、今年の2月にカナダのケベック市で開催された「2004障害者距離スキーワールドカップカナダ大会」男子シットスキー5キロで、日本人として初めて金メダルに輝き、世界の表彰台に上がりました。

シットスキー (Sit Ski) は、2本のスキー板に座席を取り付けた専用スキーを使った種目で、全身の持久力や筋力、スキーの操作技能などが強く要求される過酷な競技です。

長田さんが競技を始めたのは、1998年に開催された長野パラリンピック出場選手の募集がきっかけで、当時は全く経験がなかったそうです。

「監督やスタッフ、家族など、周りの人たちの支えがあって続けていくことができました。最終目標はやはりパラリンピックのメダルです。これからもみなさんの熱い声援に答えていきたいと思います」と力強く語ってくれました。



▲ 15キロ競技では銀メダルも獲得

2006年イタリア・トリノパラリンピックに向けて、これからも世界を舞台に挑戦は続きます。



弘幸さんへ
長く続けていくことは大変ですが、好きなことを続けていけるってとても幸せなことだと思います。痛みが残らないようにがんばってください。そして、子どもたちにその姿を見せていてくださいね。

愛美子



▲ 愛美子さん(左)と愛花里ちゃん(中央)、弘起くん(右)。家族でスキーを楽しむ夢もあるそうです